

**栄区地域子育て支援拠点事業
令和6年度重点目標評価結果・令和7年度重点目標**

事業実施期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日(5年度目／5か年度)
事業の実施者	社会福祉法人地域サポート虹 栄区こども家庭支援課
事業目的	市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。 【事業・施設運営の基本理念】 1 栄区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に関わった運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わるることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

令和6年度重点目標の評価

令和6年度重点目標①	多様な養育者に向けた支援の充実をはかります
取組内容	●母親だけでなく父親にとっても相談しやすい環境やしきみを作る ●育休中の父親に向けた交流会や居場所を作る ●多様な養育者(外国籍の方を含む)が訪れやすい環境やしきみを作る

取組の成果	●父親支援 ・母親、父親がそれぞれが来館した際に、お互いの悩みを聞くことで双方の気持ちに寄り添うことにつながった。 ・育児休暇中、平日休み、有休等の利用で平日のプログラムへの参加が増えた。拠点で行っている、どのプログラムも父親が参加しやすいよう環境設定を行い、平日のプログラムにも父親が参加する機会が増えた。 ・毎月父親参加型のプログラムの実施。父親が様々な遊びを知る、父親同士が交流できる仕組み、スキンシップによって愛着形成がつけられる等伝える機会となった。 ・パパりんくを隔月に開催し、父親と子ども限定の時間帯を提供した。父親同士の交流の中にスタッフが加わることで父親の育児に対する相談や母親との育児感の違いに対する悩みを聞く機会が増えた。この日に、初めて父子での外出の機会にしている養育者もあり、父子での外出に不安を持っていた父親が自信を持って帰宅する人も増えている。 ・父親同士の交流では、寝かしつけ・パパ見知りの等の話題があり、育児について父親としての役割を考える場となった。 ・受動喫煙についての知識を得る機会を設けた。子どもに与える副流煙の危険性をクイズ形式で行い、養育者とする機会となった。 ●多様な養育者(外国籍の方を含む)が訪れやすい環境やしきみを作る ・外国につながる利用者から直接手書きで母国語の挨拶を書いてもらい入館して目に入りやすい受付に掲示した。外国につながる養育者の来館があることが伝わるような壁面にした。 ・図書コーナーには、世界の国旗をテーマにした絵本や世界の国を紹介する絵本を新たに設置し、来館者が他国に興味を持てるよう環境設定した。 ・外国につながる親子が集まり、手遊びや交流できるプログラムを行った。 ・外国につながる親子がひろばで過ごしやすいうように、英語を話せるスタッフや翻訳機を利用して利用者同士をつなげ、孤独感を抱えないよう配慮した。 ・「のびしろクラブ」発達がゆっくりな子や特性のある子と保護者にとって他児をきにせず少人数で遊ぶことができ養育者の負担を軽減する効果があった。また、作業療法士が加わることで身体の使い方を促す遊びを行い、その中で発達について専門的に気軽に相談できる機会となった。 ・利用者のニーズにより、アラフォーママの会や20代ママ集まれ～!!、2人目3人目育児中のママあつまれ等テーマごとに分かれた会をスタッフがサポートし利用者主体で開催した。 ・妊娠期向けのプログラムを時間や環境設定を見直し開催した。出産後の来館時に、発達面での育児不安等の相談があるので、区で行っている「ハピママサロン」の案内を妊娠期や出産後4ヶ月までの養育者に積極的に周知し参加につながった。
取組の課題	・父親の来館が増え、父親の相談が増えたが、父親に特化した相談先が区や他の行政機関にはない為、次年度は父親向けのキャリアカウンセリングを実施する予定。また、拠点で相談ができることを様々な媒体を通してさらに周知していく必要がある。 ・妊娠期には赤ちゃんとの生活がイメージしにくく、産後4か月までの父母の育児不安の相談も多いため、早い段階での育児不安軽減につながる支援が必要と考える。 ・外国につながる養育者のニーズを分析しプログラムの見直しを行う。
令和6年度重点目標②	引き続き、拠点のネットワークを活かして、地域の子育て支援機関や団体と協力し、「子育てしやすいまちづくり」を目指します

取組内容	●養育者や支援者に必要な情報を届けられるしくみを作る ●各地域の情報を共有し、ニーズや課題を探り、解決に向けて連携するための機会を作る
取組の成果	●拠点のホームページを区と共にリニューアルした。 ・区内外の子育て情報を地域や相談先等カテゴリーに分けたことにより、養育者の情報収集の幅を広げることができた。 ・ケアプラザのコーディネート会議や栄区地域福祉保健推進会議等に参加し、ホームページの活用について周知することができた。情報を集約し発信する方法に課題があった各地域に情報発信の仕組みを作った。 ●今年度から始まったパマトコ(子育て応援サイト)の活用を全ての来館者に丁寧に説明することによって、市内の子育て情報の収集と利用につながった。 ●各地域で出張遊びの周知を拠点が行うことで、サロンやコミュニティハウス等の場所を養育者が知り、その後の継続的な利用につながった。(鍛冶ヶ谷っ子集まれ・矢沢コミュニティハウス等) ●子育て支援団体連絡会で、「栄区の現状と各地の変化と課題」や「乳幼児～青少年期までの育ちの連続性を考える」研修を行い、活動に役立つ情報を発信した。 ●子育て支援団体連絡会で、今年度も見学会を行った。活動の様子を見ることで、養育者に生きた情報発信ができた。また団体同士のつながりができた。 ●「子育てつながりリスト」の更新を行った。各団体同士連携が取れるよう改めて周知した。
取組の課題	・地域の子育て支援関係者や団体と改めてつながりを深め、区内の子育て情報をくまなく収集する仕組みを考えホームページを整理していく。 ・新たにつながった地域の子育て部会の連絡会に参加しその地域の課題等について考える。

次年度重点目標

令和7年度 重点目標①	多様な養育者に向けた支援の充実を図り、子育ての不安軽減に努めます。
取組内容	●妊娠中の方やその家族に向けて安心して子育てができるような取り組みを実施する。 ●父親のニーズを把握し、父親の育児支援を行う。 ●外国につながる養育者のニーズについて、前年度の課題を踏まえ見直しを行い来館促進に努める。
令和7年度 重点目標②	拠点のネットワークを活かして、地域の子育て支援機関や団体と協力し「共育て」を目指します。
取組内容	●各地域のネットワークをさらに広げ、区の子育て情報の収集の仕組みを考え、養育者や支援者に必要な情報が届けられるよう工夫する。 ●子育て支援団体連絡会を活用し、子育て家庭の状況を伝え、各団体の情報共有の場として各地域の課題を探り、課題解決に向けて連携し取り組む。 ●養育者や支援者に地域とのつながりの大切さを伝え、「つながる」為の仕組みを考える。